

症例基盤・問題解決型学修（入門）

ナンバリング

M1-S1-E01

責任者・コーディネーター	教育支援システム開発分野 前沢 千早 教授		
担当講座・学科（分野）	教育支援システム開発分野、地域医療学分野、外科学講座、糖・代・内分泌内科分野、脳神経内科・老年科分野、総合診療医学講座、医学教育学分野		
担当教員	前沢 千早 教授、下沖 収 教授、高田 亮 教授、伊藤 智範 教授、前田 哲也 教授、佐々木 章 教授、石垣 泰 教授、安平 進士 講師、相澤 純 特任講師、柴崎 晶彦 助教		
対象学年	1	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 6コマ 12.0時間
期間	通期		演習 0コマ 0.0時間
			実習 21コマ 42.0時間

・学習方針（講義概要等）

岩手医科大学公開症例集（Paper Patients）をもとにした問題解決型学習(PBL; Problem based learning)をおこなう。一般的な症候（頭痛、胸痛、腹痛、血痰・喀血、吐血・下血、麻痺、意識障害・失神、運動麻痺・筋力低下、ショック、など）を訴える患者に対して、どのようなアプローチで病気の診断と治療を行えば良いか、またそれを論理的に進める際に必要な基礎的知識と技能が何かを、少人数グループ（履修背景をもとにしたメンバー構成）で調べて、プレゼンテーション資料をつくり、発表と討議を行うコースである。

・教育成果（アウトカム）

症例をベースにした少人数グループ作業によるPBLをおこなうことで、常に病者を念頭において、ヒトの体の正常構造と機能、および病態生理を学ぶことができるようになる。また、チームとして作業をする上で必要な、役割分担とコミュニケーション能力が向上する。自己の学修履歴を記録しておき、常に振り返る習慣を身につけることで、自己学修を自律的にこなうことのできる学生になる。

(ディプロマ・ポリシー： 1,2,4,5,6)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	少人数グループ内で、役割を決めて成果物を作り上げることができる。
2	チームの和を保ち、良好なコミュニケーションをとることができる。
3	疾患の理解には、どのような基礎知識が必要となるか、具体例をあげて説明できる。
4	病歴を読み解き、診療、診察、診断、治療方針の立案プロセスを机上体験することで医師の職務を実感できる。
5	自己学修の記録をつけることができる。
6	プレゼンテーションソフトを使って、個別の疾患を説明できる。
7	医療における倫理的な行動とはどのようなものか、考察し、議論することができる。
8	病者の立場に共感する態度を身につけることの重要性を認識できる。

・ 講義場所

講義：東1-A講義室・SGL・その他教員の指定する場所

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	4/22(水)	4	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授 安平 進士 講師 柴崎 晶彦 助教	問題解決型学習（PBL）とグループワークのイントロダクション【実習室】	1,2,3,5,6,7,8	【事前学修】 イントロダクションに使用する、事前学修資料を配付する。あからじめ一読し、不明の箇所、わからない単語をチェックして講義に臨む。所要時間 30分以上 【事後学修】 グループ討議にあたり、自らの考えをまとめる為に必要な事を箇条書きに書き出してみる。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに事前資料を公開する。
実習	4/22(水)	5	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授 安平 進士 講師 柴崎 晶彦 助教	臨床医学を学ぶ上で、何が必要で重要なかの学修観点を討議する【実習室】	1,2,3,5,6,7,8	【事前学修】 グループの討議に必要な事項を整理して臨む。30分以上 【事後学修】 次回の成果発表に向けた成果物の作成ならびに発表、質疑応答に向けた準備を行う。所要時間 30分以上
実習	5/1(金)	1	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	グループ成果物の発表【実習室】	1,2,3,5,6,7,8	【事前学修】 成果発表に向けた成果物の作成ならびに発表、質疑応答に向けた準備を行う。所要時間 30分以上 【事後学修】 自己の点検評価を行う。さらに、他グループの発表成果で共感出来た内容を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上

講義	5/1(金)	2	地域医療学分野 教育支援システム開発分野	伊藤 智範 教授 前沢 千早 教授	疾病論入門【講義室】	4,5	<p>【事前学修】 事前学修資料を配付する。あからじめ一読し、不明の箇所、わからない単語をチェックして講義に臨む。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義内容をA4一枚程度(300-500字程度)にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上</p> <p>【ICT】 WebClassに発表資料を公開する。</p>
講義	5/13(水)	3	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	模擬患者診察「症例をどう診るか【講義室】	4,5	<p>【事前学修】 事前公開資料を一読し、臨床診察の流れに対してイメージを持つ。担当症例に関してのシナリオを読み、インターネット、教科書を使って解らないところを調べる。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 自己点検評価を行う。さらに、他グループの発表成果で共感出来た内容、疑問に思った点を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上</p>
実習	5/13(水)	4	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	PBL【実習室】	1,2,3,4,5,6,7,8	<p>【事前学修】 事前公開資料を一読し、担当症例に関してのシナリオを読み、インターネット、教科書を使って解らないところを調べる。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 自己の点検評価を行う。さらに、他グループの発表成果で共感出来た内容を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上</p>

講義	6/16(火)	3	外科学講座 糖・代・内分 泌内科分野 脳神経内科・ 老年科分野	前田 哲也 教授 佐々木 章 教授 石垣 泰 教授	臨床講義② 4. 『食べ過ぎるとな ぜメタボになる の?』 石垣教授 5. 『ふるえる神経 学』 前田特任准教 授 6. 『「音を聞く」と は、どういうことな のか?』 平海准教授 【講義室】 ※詳細別紙	3,4,5	【事前学修】 事前学修資料を配付する。 あからじめ一読し、不明の 箇所、わからない単語を チェックして講義に臨む。 所要時間 30分以上 【事後学修】 臨床医の講演を聴いて、気 がついた事、疑問に思った こと、調べて見たいことを 抽出し、A4 一枚程度のま とめを作成すること。所要 時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公 開する
実習	6/23(火)	3	教育支援シス テム開発分野 教育支援シス テム開発分野 教育支援シス テム開発分野	前沢 千早 教授 安平 進士 講師 柴崎 晶彦 助教	PBL【講義室】	1,2,3,4,5 ,6,7,8	【事前学修】 事前公開資料を一読し、担 当症例に関するシナリオ を読み、インターネット、 教科書を使って解らないと ころを調べる。所要時間 30分以上 【事後学修】 paper patinetの活用のしか た、診察ビデオを視聴して 気がついた事、疑問に思っ たこと、調べて見たいこと を抽出し、A4 一枚程度の まとめを作成すること。所 要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	6/23(火)	4	教育支援シス テム開発分野 地域医療学分 野 医学教育学分 野 医学教育学分 野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講 師 高田 亮 教授	PBL【講義室】	1,2,3,4,5 ,6,7,8	【事前学修】 事前公開資料を一読し、担 当症例に関するシナリオ を読み、インターネット、 教科書を使って解らないと ころを調べる。所要時間 30分以上 【事後学修】 【ICT】 WebClassに関連教材 を公開する。
実習	6/29(月)	3	教育支援シス テム開発分野 地域医療学分 野 医学教育学分 野 医学教育学分 野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講 師 高田 亮 教授	グループ成果物の発 表【実習室】	1,2,3,4,5 ,6,7,8	【事前学修】 グループで討議したことを 整理する。所要時間 30分 以上 【事後学修】 グループで討議した内容を まとめプレゼンテーション の準備をする。所要時間 30分以上

実習	6/29(月)	4	地域医療学分野 教育支援システム開発分野 医学教育学分野 医学教育学分野	伊藤 智範 教授 前沢 千早 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	グループ成果物の発表【実習室】	6	【事前学修】 事前学修資料を配付する。あからじめ、他のグループの資料を一読し、意味不明の箇所、解らない単語をチェックして講義に臨む。所要時間 30分以上 【事後学修】 自己の点検評価、他グループの発表成果で見習うべき所を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公開する
実習	6/29(月)	5	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	TBLによる確認テスト【実習室】	6	【事前学修】 事前学修資料を配付する。あからじめ、他のグループの資料を一読し、意味不明の箇所、解らない単語をチェックして講義に臨む。所要時間 30分以上 【事後学修】 自己の点検評価、他グループの発表成果で見習うべき所を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公開する
実習	7/13(月)	3	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	解説講義【実習室】	2,3	【事前学修】 webclassに公開された他班の資料を一読し、TBLに臨む。所要時間30分以上 【事後学修】 TBLのふり返しを行い。知識を整理し、ポートフォリオに綴じ込む。所要時間30分以上
講義	7/13(月)	4	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	解説講義【実習室】	2,3	【事前学修】 TBLの解説講義に向けて、これまで整理したポートフォリオを一読する。所要時間30分以上 【事後学修】 TBLの問題解説を精読し、不明な点、更に調べる点を整理要約する。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公開する

実習	9/7(月)	3	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	カルテの書き方【講義室】	4,5	【事前学修】 事前公開資料を一読し、疑似臨床実習に関するイメージを持つ。所要時間 30分以上 【事後学修】 臨床実習の疑似体験について、感じたことをA4一枚にまとめる。所要時間 30分以上
実習	9/7(月)	4	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	PBL【講義室】	1,2,3,4,5 ,6,7,8	【事前学修】 公開資料を読みPPBLのシナリオの内容に関する個人の考えを纏める。教科書やインターネットで調べておく。所要時間 30分以上
実習	9/7(月)	5	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	PBL【講義室】	1,2,3,4,5 ,6,7,8	【事前学修】 公開資料を読みPPBLのシナリオの内容に関する個人の考えを纏める。教科書やインターネットで調べておく。所要時間 30分以上 【事後学修】 グループで討議した内容をまとめプレゼンテーションの準備をする。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公開する
実習	10/5(月)	3	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	グループ成果物の発表【実習室】	6	【事前学修】 事前学修資料を配付する。あからじめ、一読し意味不明の箇所、解らない単語をチェックして講義に臨む。所要時間 30分以上 【事後学修】 自らグループの症例に発表について指摘された所、不明であった所について調べる。他のグループの資料の不明な点に関して整理する。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公開する
実習	10/5(月)	4	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	グループ成果物の発表【実習室】	6	【事前学修】 事前学修資料を配付する。あからじめ、一読し意味不明の箇所、解らない単語をチェックして講義に臨む。所要時間 30分以上 【事後学修】 自己の点検評価、他グループの発表成果で見習うべき所を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上

実習	10/19(月)	3	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	TBLによる確認テスト【実習室】	2,3	【事前学修】 TBLの解説講義に向けて、これまで整理したポートフォリオを一読する。所要時間 30分以上 【事後学修】 TBLの問題解説を精読し、不明な点、更に調べる点を整理要約する。所要時間 30分以上
講義	10/19(月)	4	教育支援システム開発分野 総合診療医学講座	前沢 千早 教授 下沖 収 教授	模擬患者診察「症例0-その後」【講義室】	2,3	【事前学修】 事前公開資料を一読し、疑似臨床実習に関するイメージを持つ。所要時間 30分以上 【事後学修】 自己の点検評価、他グループの発表成果で見習うべき所を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公開する
実習	10/19(月)	5	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	PBL【実習室】	1,2,3,4,5,6,7,8	【事前学修】 事前公開資料を一読し、疑似臨床実習に関するイメージを持つ。所要時間 30分以上 【事後学修】 グループで討議した内容をまとめプレゼンテーションの準備をする。所要時間 30分以上
実習	10/26(月)	3	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	グループ成果物の発表【実習室】	6	【事前学修】 前回の発表時に指摘された点、新たに必要と思われた部分を改善されたプレゼンテーションを作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 自己の点検評価、他グループの発表成果で見習うべき所を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公開する

実習	10/26(月)	4	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	グループ成果物の発表【実習室】	6	【事前学修】 事前学修資料を配付する。あからじめ一読し、不明の箇所、わからない単語をチェックして講義に臨む。所要時間 30分以上 【事後学修】 自己の点検評価、他グループの発表成果で見習うべき所を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに資料を公開する
実習	10/26(月)	5	教育支援システム開発分野 地域医療学分野 医学教育学分野 医学教育学分野	前沢 千早 教授 伊藤 智範 教授 相澤 純 特任講師 高田 亮 教授	グループ成果物の発表【実習室】	6	【事前学修】 成果発表に向けた成果物の作成ならびに発表、質疑応答に向けた準備を行う。所要時間 30分以上 【事後学修】 自己の点検評価、他グループの発表成果で見習うべき所を要約し、300-500字程度にまとめる。まとめたテキストファイルは印刷し、ポートフォリオに綴じ込むこと。所要時間 30分以上
実習	11/9(月)	3	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	グループ成果物の共有化と解説講義【実習室】	1,2,3,4,5,6,7,8	【事前学修】 これまで年間を通して整理してきたポートフォリオの総点検を行う。所要時間 30分以上 【事後学修】 このコース学んだ事に関して。学修成果の総点検をおこなう。所要時間 30分以上
実習	11/9(月)	4	教育支援システム開発分野	前沢 千早 教授	ポートフォリオ整理【実習室】	1,2,3,4,5,6,7,8	【事前学修】 これまで年間を通して整理してきたポートフォリオの総点検を行う。所要時間 30分以上 【事後学修】 このコース学んだ事に関して。学修成果の総点検をおこなう。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClassに発表資料を公開する。

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	岩手医科大学基本症例集（オープン問題）			
教科書	内科診断学 第4版	福井次矢/奈良信雄/松村正巳	医学書院	2024/03/01 電子ジャーナル有り

・成績評価方法

【総括評価】

後期試験（65%）、前期試験（30%）、ポートフォリオ記録（5%）で評価し、100点満点に換算して60点以上を合格とする。

【形成的評価】

TBL/解説講義ならびにwebclassを使った小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。

実習中（発表会）の口頭試問および毎時間の実習内容等をまとめたポートフォリオを評価し、学生にフィードバックする

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1、2、 5、6、 8	1、2、 5、6				10		5	15
3、4、 7	4				85			85
合計					95		5	100

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前・事後学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。講義資料はWebClassで配信する。本科目では、事前事後学修以外に600分の自己学修を要す。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書：内科診断学（医学書院）、講義室（おもに東1A）、実習室（おもに西4AB）、SGL、PC、webclassによる演習

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン	1	講義
講義	プロジェクター	1	講義